コンパイラ写経のススメ (感想)

RICORA 覚道健太郎

Bluesky: @kakudo.org

自己紹介

東京理科大学 創域理工学部 数理科学科 4年

Rustが好き

テキストエディタとかを書いている

Webも好き

しょうもなサービスを産んでは閉じている

自力でコンパイラ書けますか?

- そもそも構文解析できる?
- アセンブリでどうやって関数を作るの?
- え、そもそも変数って何なんだ・・・
- ポインタをどう表現するんですか!?
- ―― 僕は無理でした

書き方を教えてくれる本はあるけれど・・・

もちろん、有名な本はたくさんある

·····けど分厚い。**かなり進めないと全容が見えない。**

例 『最新コンパイラ構成技法』

• 238ページまで進めてやっと基礎編終了

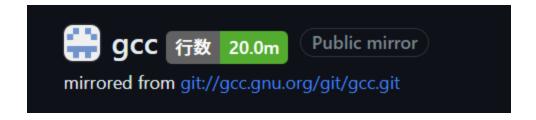
手取り足取り教えてもらう方法

それが写経だ~!

→ さっそく有名コンパイラのコードを見てみよう!

• • • • • •

例: 主なコンパイラのコード行数



• GCC: 約2000万行



• LLVM: 約3000**万**行

Compilerbook

Rui Ueyamaさんの公開されているオンラインブック

https://www.sigbus.info/compilerbook

- 細かく**お手本コード**がある
- 周辺知識についても親切な記述がある
- 日本語で書かれている(一部に重要)

コンパイラを書きながら、低レイヤに詳しくなれる!

実際進めてみる

なになに・・・・・・最初のステップは**数字を1つコンパイルする**?なんじゃそりゃ?

最初のテストコード

42

実行結果

(終了コード42でプログラムが直ちに終了する)

インクリメンタルな開発

Compilerbookでは、**全部のステージで小さなC言語が "コンパイル" できる** ようにする 教科書などでよくある、

構文解析 → 意味解析 → 中間表現 → …

と各パーツを完成させていくのとは対照的。

どんどん動く!

- 1. 数字ひとつ
- 2. 足し算・引き算
- 3. 字句解析機
- 4. エラーメッセージ
- 5. 四則演算

9. return 文

•

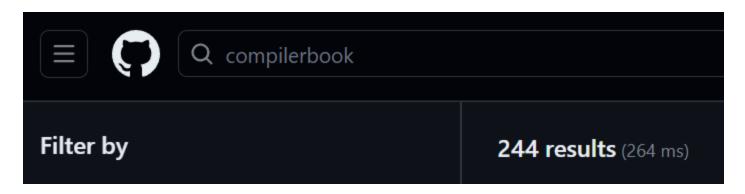
15ステップくらいで、これくらいのコードが動くようになる

```
int countsum(int c) {
  int sum;
  sum = 0;
 int i;
  for (i = 0; i <= c; i = i + 1) {
    sum = sum + i;
  return sum;
int main() {
  return countsum(14);
```

読みながら無理なく進めているのに、いつの間にかできてしまう感覚

それでもムズいときはある

Compilerbookを**進めている人**たちのコードを読もう!



たくさんの仲間が書いているので、同じ問題に勝利した人たちがいる

天才じゃない僕たちは天才の真似から始めよう

- 天才でさえ、大きなプログラムをガッと書けるわけではない(はず)
- 小さいステップで進めよう!
- テストは大事